

令和4年度第3回地球温暖化対策部会における基本方針2に対するご意見一覧について

No	該当箇所	主なご意見	対応方針
1	基本方針2全般	全体的に人間が関与して形成された雑木林のような植生を良しとし、それ以前に存在したカシなど常緑樹主体の植生を否定するような表現がなされているが、多様な植生を認めるような表現にするべきである。	市内の特徴的な環境の一つとして雑木林を取り上げている部分はありますが、市内全域の目標植生をかつての雑木林に定めるような内容、表現は用いておらず、武蔵台緑地のように、雑木林由来だけでなく、様々な常緑樹を含む植生も併せ持つ環境も市内の自然環境の多様性の一つと認識した記載をしており、表現の修正を要するとは考えておりませんが、地域戦略部会にて検討いたします。
2	P.60,61 成果指標	(同様意見2件) ・指定種にウマノスズクサ(絶滅危惧類)、及びウマノスズクサを食草とするジャコウアゲハ(対象外)を入れることを検討して欲しい。 ・府中市内にはウマノスズクサが自然にたくさん生えており、ジャコウアゲハが飛んでいるが、一般の市民は知らずに刈ってしまっている。生物多様性の保全に身近に取り組みやすいものとして、ウマノスズクサ及びジャコウアゲハを指定種に入れてほしい。	地域戦略部会にて検討いたします。
3	P.64 個別施策3	「こども」の表記が「子供」または「子ども」と、統一されていない。 「子ども」の表記が望ましいとの意見もあり。	「子ども」に統一する方向で検討します。
4	P.64 個別施策3 「市民・市民団体の取組」	「子どもたちを…積極的に参加させる」の「させる」という表現が威圧的である。	「子どもたちが…参加できるように努めるとともに」に修正します。
5	P.65 個別施策4 「市民・市民団体の取組」	「利用したり応援します」は「すすんで利用し応援します」が望ましい。	そのように修正します。